

2年国語科

(1) 観点別学習状況の評価例

■ 教科の目標	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
※『学習指導要領』 (平成29年告示)参照	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、読書を生活に役立て、言葉を適切に使おうとしている。
■ 教科の「評価の観点及びその趣旨」	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
※『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』参照	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、読書を生活に役立て、言葉を適切に使おうとしている。
○ 授業の構想と学習評価例	○漢字 ・今までに学習した常用漢字とその他の常用漢字を読むこと。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使っている。 (授業プリント・テスト) ○古典 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しもうとしている。 (授業プリント・テスト) ○書写 身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書こうとしている。(毛筆・硬筆【作品】) ○文法 言葉について理解したり表現したりするために言葉について理解を深めようとしている。 (授業プリント・テスト)	○発表・グループワーク ・論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。 ・自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。 (授業の取り組み・授業プリント) ○作文 伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。(授業の取り組み・授業プリント) ○教科書本文読解 文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えようとしている。(授業の取り組み・授業プリント)	○話すこと ・粘り強く論理の展開を考え、今までの学習を生かして話そうとしている。 (授業の取り組み・授業プリント【振り返り】) ○書くこと ・粘り強く自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫し、学習課題に沿って批評する文章を書こうとしている。 (授業の取り組み・授業プリント【振り返り】) ○読むこと ・粘り強く論理の展開の仕方を捉え、学習課題に沿って考えたことについて討論しようとしている。 (授業の取り組み・授業プリント【振り返り】)

(2) 年間指導計画

国語科の目標

- 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けさせる。
- 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い自分の思いや考えを広げたり深めたりさせる。
- 言葉がもつ価値を認識し言語文化を大切にして、思いや考えを伝えさせる。

国語科 2学年の目標

- 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けさせる。
- 論理的に考える力や伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりさせる。
- 言葉がもつ価値を認識し思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

月	単元名	指導内容	評価方法
4	<ul style="list-style-type: none"> ・「見えないだけ」 1、広がる学びへ ・「アイスプラネット」 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の使い方や表現に注意しながら、詩を朗読する。 ・登場人物の心情を表す表現に注意して作品を読み取らせる。 	観察・ノート プリント・テスト 発表
5	聞く 季節のしおり <ul style="list-style-type: none"> ・「枕草子」 思考の視覚化 職業ガイドを作る	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の四季を描いた情景描写の巧みさを読み取らせる。 ・情報を整理し、効果的に伝わるように説明のしかたを工夫させる。 	観察・ノート プリント・テスト
6	漢字1 熟語の構成	<ul style="list-style-type: none"> ・熟語の構成について理解させる。 	
7	2、多様な視点から <ul style="list-style-type: none"> ・クマゼミ増加の原因を探る 思考のレッスン 具体と抽象 魅力的な提案をしよう 漢字に死しよう2 文法への扉単語に分ける メディアを比べよう メディアの特徴 自分で考える時間	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や状況に応じ、話の要点や順序を整理しながら聞き取らせる。 ・情報の伝え方に関する文章を読み、構成や展開の工夫を理解させる。 ・分かりやすい発表や説明を行うために、効果的な資料を作成させる。 ・資料などを活用し、論理的で分かりやすい構成を考えて説明させる。 ・小グループによる話し合い、まとめ、発表をできるようにしていく。 ・文章を読み、メディアについて知識や体験と関連付けて自分の考えをもたせる。 	観察・ノート プリント・テスト 発表
	3、言葉と向き合う <ul style="list-style-type: none"> ・短歌に親しむ ・短歌を味わう ・「言葉の力」 言葉1 類義語・対義語・多義語 言葉を比べよう 読書生活を豊かに 読書楽しむ 翻訳作品を読み比べる 読書コラム <ul style="list-style-type: none"> ・書写 	<ul style="list-style-type: none"> ・短歌の描写の効果を理解し、情景を想像しながら朗読させる。 ・文を読み、言葉の微妙な違を考慮することの意義を確認させる。 ・類義語と対義語、多義語の意味や用法を理解させる。 ・活用のある自立語と活用のない自立語の働きを理解させる。 ・点画の省略を意識して、毛筆で「調和を書く。 ・筆順の変化を意識して、毛筆で「紅花」を書く。 	観察・ノート プリント・テスト

9	4、人間のきずな ・「盆土産」 ・「字のない葉書」	<ul style="list-style-type: none"> ・描写の効果、登場人物の言動の意味などに注意し、人柄や心情を読み取らせる。 ・人物の言動や様子を描いた表現、心情を表す語句に着目して読み、その人柄や心情を捉える。 	観察・ノート プリント・テスト
10	聞き上手になろう	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えたい気持ちや用件を明確にして、効果的に伝わるように表現や構成を工夫して手紙を書かせる。 ・敬語表現の特徴について理解を深め、その使い方を身に付けさせる。 ・根拠を確かめ、筆者が何を主張しているかを読み取らせる。 ・相手の立場や意見を尊重しながら目的に沿って話し合わせる。 ・言葉や表現の工夫などに注意しながら、筆者のものの見方や考え方を読み取らせる。 	観察・ノート プリント・テスト
11	表現を工夫して書こう		
12	推敲 表現の効果 言葉2 敬語 漢字2 同訓同音異字 漢字に親しもう 5、論理を捉えて ・「モアイは語る」 思考のレッスン2 意見文を書く 漢字に親しもう4 討論 多角的に検討する ・音読 「月夜の浜辺」		
	季節のしおり 秋 6、いにしへの心 を訪ねる ・音読 平家物語 ・「扇の的」	<ul style="list-style-type: none"> ・冒頭部分を音読し、古文の表現に慣れ、古典の世界を楽しませる。 ・古典の独特の調子やリズムに慣れさせる。また、そこに描かれたものの見方や考え方に触れさせる。 ・古典作品に登場する人物の特徴を捉え、伝えたいことを明確にして文章に書き表す。 ・行書と仮名の調和を意識して、毛筆で「夕映えの空」を書く。 ・行書に調和する仮名の特徴を意識して、小筆で「いろは歌」を書く。 ・行書と仮名の調和を意識し、これまでに学習したことと行書の字形の整え方に注意して、「平家物語」の抜粋を硬筆でなぞり、空欄に書き込む。 	観察・ノート プリント・テスト
	7、価値を語る ・君は「最後の晩餐」を知っているか 漢字に親しもう5 文法への扉2 漢字に親しもう6 文法の扉3 書写	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対する自分の意見を決め、立場と根拠を明確にし、構成を工夫しながら意見文を書かせる。 ・用言の活用について理解させる。 ・場面に応じて楷書と行書のどちらで書くことが適しているか、理由も合わせて話し合う。 	観察・ノート プリント・テスト

1	6、いにしへの心を訪ねる 「仁和寺にある法師」	<ul style="list-style-type: none"> 漢詩特有の言葉遣いや調子を生かして読み味わう。 	観察・ノート プリント・テスト
2	漢詩の風景		
3	8、表現を見つめる 「走れメロス」 言葉3 漢字3 国語の学びを振り返ろう 書写		

2年社会科

(1) 観点別学習状況の評価例

■教科の目標	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
※『学習指導要領』 (平成29年告示)参 照	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
■教科の「評価の観点及びその趣旨」	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
※『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料』参照	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付け活用している。	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察し、社会に見られる課題の解決に向けて思考・判断できる。思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりすることができる。	社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようすることができる。多面的・多角的な考察や深い理解を通して、国民主権を担う公民として、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することができる。
・授業の構想と学習評価例	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の特徴である、少子高齢化社会がどのようなものであるか、説明できる。 ・少子高齢化の実態を、グラフや表など資料をもとに読み取ることができる。 ・合計特殊出生率など用語を理解して使いことができる。 《授業での取り組み》 ・グラフをもとに、少子高齢化の進行を読み取り、40年後の人口構成から将来自分の置かれる立場を考え文章化する。 《評価》 ・グラフから40年後の自分の立場を理解し、少子高齢化の進行について理解し、文章化できる。 ・提出物、定期考査、ノート 	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化の原因を、少子化・高齢化それぞれについて考えることができる。 ・少子高齢化による影響を、利点・課題点それぞれを考えることができる。 《授業での取り組み》 ・少子高齢化の原因をそれぞれ考え文章にする。 ・少子高齢化による影響を利点・課題点それぞれ考え、まとめ意見を交流する。 《評価》 ・少子高齢化の原因を考えまとめることができる。 ・少子高齢化の影響を利点・課題点それぞれを考えまとめ発表し、他者の意見をもとに視野を広げることができる。 ・定期考査、ノート 	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢社会について、前向きに考え、より良い社会生活を送るための手立てを考えることができる。 《授業での取り組み》 ・少子高齢社会の利点・課題点をもとに、より良い社会生活を送るために必要なしくみを考える。 《評価》 ・少子高齢社会の利点・課題点をもとに、持続可能な社会生活を送るために必要なしくみを複数の視点で考え文章化することができる。 ・レポート、定期考査、ノート

(2) 年間指導計画

社会科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

社会科 第2学年の目標

《地理的分野》社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

《歴史的分野》社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

月	単元名	指導内容	評価方法
4	第3章 中世の日本 1節 武士の台頭と鎌倉幕府 2節 東アジア世界とのかかわりと社会の変動	○以下の内容について、東アジアとの関係を踏まえて理解する。 ・鎌倉幕府の成立と元寇 ・南北朝の争乱と室町幕府の成立と文化の形成 ・農業など諸産業の発達	ノート レポート ワークなど提出物 定期考査などテスト 授業中の観察
5	第4章 1節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一	・下剋上と民衆の成長 ・宗教改革によるヨーロッパ世界の拡大	
6	2節 江戸幕府の成立と対外関係 3節 産業の発達と幕府政治の動き	・ヨーロッパ人との出会い ・織田信長・豊臣秀吉による統一事業 ・桃山文化、元禄・化政文化 ・江戸幕府の支配の仕組みと身分制度 ・鎖国政策と対外関係	
7		・江戸時代の諸産業の発達と都市の繁栄 ・3つの改革と社会の変化 ○各時代の特徴・変化について理解し、多角的多面的に考え表現する。 ○各時代の課題を、よりよい社会の実現を視野に追求する。	
9	地理的分野 第3編 日本のさまざまな地域 1章 地域調査の手法 地形図の読み取り	○地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目して理解し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決する。	ノート レポート ワークなど提出物 定期考査などテスト 授業中の観察
10	2章 日本の地域的特色と地域区分、日本の地形、気候、自然災害、人口、資源やエネルギー、産業、交通・通信	○日本の地形や気候の特色、自然災害と防災への取組、資源・エネルギーと産業に関する特色などを基に、日本と世界との交通・通信網の整備状況などから日本の自然環境に関する特色を理解し地域の共通点や差異、分布などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。	
11	3章 日本の諸地域 九州地方 中国・四国地方 近畿地方 中部地方	○日本の地域的特色を、日本の地形や気候の特色から国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況、これを活用した陸上、海上輸送などの物流や人の往来までの項目に基づく地域区分などに着目して、それらを関連付けて多面的・多角的に考察し、表現してよりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。	
12	関東地方 東北地方 北海道地方		
1	歴史的分野 第5章 開国と近代日本の歩み 1節 欧米における近代化の進展	○以下の内容について、東アジアとの関係を踏まえて理解する。 ・市民改革と産業革命 ・開国と開国後の日本の変容と明治維新	ノート レポート ワークなど提出物 定期考査などテスト 授業中の観察
2	2節 欧米の進出と日本の開国 3節 明治維新	・自由民権運動と立憲制国家の成立に向けて ○各時代の特徴・変化について理解し、多角的多面的に考え表現する。	
3		○各時代の課題を、よりよい社会の実現を視野に追求する。	

2年数学科

(1) 観点別学習状況の評価例

■ 教科の目標	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
※『学習指導要領』 (平成29年告示) 参照	数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。
■ 教科の「評価の観点及びその趣旨」	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
※『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』参照	<ul style="list-style-type: none"> 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・適格に表現する力を身に付けている。 	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。
○ 授業の構想と学習評価例	<ul style="list-style-type: none"> 同類項の意味を理解している。 簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすることができる。 具体的な事象の中の数量の関係を文字を用いた式で表したり、式の意味を読み取ったりすることができる。 文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉え説明できることを理解している。 目的に応じて、簡単な式を変形することができる。 <p>《授業での取組》 教科書の内容を基にした学習（例題を元にした説明から、問題演習等で考え方を共有したり、教えたり教えてもらったりする学習活動）</p> <p>《評価》</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習内容がきちんと身に付いているか お互いの意見交換の場面で正しい表現ができているか 数学的に表現したり、処理したりする技能が身に付いているか 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な数の計算や既に学習した計算の方法と関連付けて、整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算の方法を考察し表現することができる。 文字を用いた式を具体的な場面で活用することができる。 <p>《授業での取組》 教科書を基に、自ら深く考えたことを互いに伝え合い、学び合える学習（考え方を共有したり、教えたり教えてもらったりする学習活動）</p> <p>《評価》</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習した内容について、正確に表現できているか 友達に、正しい表現で教えることができたか 友達から教えてもらったことを基に、自力解決できるようになっているか 	<ul style="list-style-type: none"> 文字を用いた式について考えようとしている。文字を用いた式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 文字を用いた式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。 <p>《授業での取組》 基本事項について自ら学ぶことができる（調べることができる）教材を提供し、取り組ませる</p> <p>《評価》</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題演習等への取り組み状況 学び合い学習での活動の様子 各種教材（問題集）に取り組む姿勢と取り組み状況 学習した内容を振り返り、次に生かそうとしているか

(2) 年間指導計画

数学科の目標

基礎的な知識及び技能を習得し、数学的に考える力をはぐくむとともに、数学のよさを知り、数学が役立つことや数学と科学技術との関係などの理解を深め、事象を数理的に考察する能力と度を養う。

数学科 第2学年の目標

- (1) 文字式を利用する能力を養い、連立二元方程式について理解し用いる能力を養う。
- (2) 平面図形の理解を深めるとともに、数学的な推論の必要性を理解し、論理的に考察し表現する能力を養う。
- (3) 一次関数について理解するとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を養う。
- (4) 不確定な事象を調べることを通して、確率について理解し用いる能力を養う。

月	単元名	指導内容	評価方法
4	第1章 式の計算(18) ・式の計算 ・式の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・単項式と多項式/多項式の加法, 減法/多項式と数の乗法, 除法/単項式の乗法, 除法/式の値 ・式の活用/等式の変形 ・倍数の計算 ・連立方程式とその解/連立方程式の解き方/いろいろな連立方程式 ・連立方程式の活用 ・1次関数/1次関数の値の変化とグラフ/1次関数のグラフのかき方/1次関数の式の求め方 ・2元1次方程式のグラフ/連立方程式とグラフ 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・授業への取組 ・問題集 ・ノート(プリント) ・単元テスト
5	第2章 連立方程式(16) ・連立方程式とその解き方 ・連立方程式の活用		
6	第3章 1次関数(16) ・1次関数 ・1次関数と方程式		
7	・1次関数の活用		
9	第4章 図形の性質の調べ方(16) ・平行線と角 ・合同と証明	<ul style="list-style-type: none"> ・直線と角/多角形の内角と外角 ・合同な図形/三角形の合同条件/図形の性質の確かめ方/作図と証明 ・二等辺三角形/二等辺三角形になるための条件/正三角形/直角三角形の合同条件 ・平行四辺形/平行四辺形になるための条件/特別な四角形/平行線と面積 ・ことがらの起こりやすさ/確率の求め方/いろいろな確率 ・四分位数と四分位範囲/箱ひげ図 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・授業への取組 ・問題集 ・ノート(プリント) ・単元テスト
10	第5章 三角形と四角形(20) ・三角形		
11	第6章 確率(10) ・確率		
12	第7章 データの分析(12) ・四角形		
1	総復習(4)		<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・授業への取組 ・問題集 ・ノート(プリント) ・単元テスト

2年理科

(1) 観点別学習状況の評価例

■ 教科の目標	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
※『学習指導要領』 (平成29年告示)参照	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。
■ 教科の「評価の観点及びその趣旨」	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
※『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』参照	自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
○ 授業の構想と学習評価例	<ul style="list-style-type: none"> ・ 科学的な物の見方や考え方を理解しようとしている。 ・ 目的に対して仮説を立て、計画的に実験や観察を行い、得られた実験結果の情報等を適切に処理しようとしている。 <評価> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期テスト ・ 実験プリント ・ 授業観察 ・ 小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実験や観察を通して、科学的な物の見方や考え方を使い、科学的な様々な現象について説明しようとしている。 <評価> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期テスト (計算・応用問題) ・ 小テスト(思考系) ・ 授業観察 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然科学に興味関心を持ち、科学的な物の見方や考え方を使って、探究しようとしている。 <評価> <ul style="list-style-type: none"> ・ 理科ノート ・ 問題集やプリントなどの取り組み ・ 質問紙 ・ 定期考査

(2) 年間指導計画

理科の目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

理科 第2学年の目標

自然の事物・現象についての理解を深め、その課題に対して解決する方法を立案し、その結果を分析して解釈する。また、科学的に探究しようとする態度を養う。

月	単元名	指導内容	評価方法
4	単元1 化学変化と原子・分子	1章 物質の成り立ち 実験1 炭酸水素ナトリウムの熱分解 実験2 電気による水の分解	テスト 基本操作 ワークシート
5		2章 いろいろな化学変化 実験3 金属の燃焼 実験4 酸化銅の還元	ワークシート
6		実験5 鉄と硫黄の混合物の加熱 3章 化学変化と熱の出入り 実験6 熱を発生する化学変化	テスト ワークシート 行動観察
7		実験7 熱を吸収する化学変化 4章 化学変化と物質の質量 実験8 化学変化の前後の質量 実験9 銅を加熱したときの質量の変化	ワークシート 行動観察
9	単元2 生物の体のつくりとはたらき	1章 生物をつくる細胞 観察1 生物の顕微鏡観察 観察2 単細胞生物と多細胞生物の観察	基本操作 ワークシート
10		2章 植物の体のつくりとはたらき 観察3 光合成が行われる場所 実験1 光合成が行われる場所 実験2 蒸散と吸収の関係	ワークシート
11		観察4 葉の表皮と断面 3章 動物の体のつくりとはたらき 実験3 だ液のはたらき 観察5 毛細血管の観察	テスト ワークシート 行動観察
12		実験4 刺激と反応	
	単元3 電流とその利用	1章 電流と回路 実験1 豆電球やモーターに流れる電流の大きさ 実験2 電流の大きさ 実験3 電圧の大きさ 実験4 電流と電圧の関係 実験5 電力と熱量の関係	テスト ワークシート 行動観察
		2章 電流と磁界 実験6 電流がつくる磁界 実験7 電流が磁界から受ける力	ワークシート 行動観察
		3章 電流の正体 実験8 電磁誘導 実験9 電気の力	ワークシート 行動観察

1	単元4 気象のしくみと天気の変化	1章 気象観測 観測1 気象観測	ワークシート 行動観察
2		2章 気圧と風 実習1 天気図を読む	
3		3章 天気の変化 実験1 露点の測定 実験2 雲の作り方 4章 日本の気象	テスト ワークシート 行動観察

2年音楽科

(1) 観点別学習状況の評価例

■ 教科の目標	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
※『学習指導要領』 (平成29年告示) 参照	曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。	音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情をはぐくむとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を養う。
■ 教科の「評価の観点及びその趣旨」	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
※『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料』参照	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け歌唱、器楽、創作で表している。 	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら知覚したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら、主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
○ 授業の構想と学習評価例	<p>【例】歌唱「明日の空へ」</p> <p>知「明日の空へ」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。</p> <p>技創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。</p> <p>【授業での取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師による指導や、パートでの音とりなど、生徒同士の声を聴き合い、教え合う活動。 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記の内容が身に付いているか ・自分の考えをプリントや自己評価カードに言葉で表現することができるか ・パート練習の様子 	<p>思「明日の空へ」の旋律、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、その関わりについて考えている。</p> <p>思知覚・感受したこととの関わりについて考え、「明日の空へ」をどのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>【授業での取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師による指導や、パートでの音とりなど、生徒同士の声を聴き合い、教え合う活動 ・プリント等への記入 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記の内容が身に付いているか ・自分の考えをプリントや自己評価カードに言葉で表現することができるか ・パート練習の様子 	<p>態「明日の空へ」の曲想や歌詞の内容、声部の役割と全体の響きなどに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に合唱の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>【授業での取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師による指導や、パートでの音とりなど、生徒同士の声を聴き合い、教え合う活動 ・プリント等への記入 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記の内容が身に付いているか ・自分の考えをプリントや自己評価カードに言葉で表現することができるか、また、学習した内容を振り返り、生かそうとしているか ・パート練習の様子

(2) 年間指導計画

音楽科の目標

音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情をはぐくむとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を養う。

音楽科 第2学年の目標

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。
- (2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようになる。
- (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

月	題材名	指導内容	評価方法
4	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう 《鑑賞》 音楽鑑賞教室交響曲第5番ハ短調から 第1楽章	<ul style="list-style-type: none"> ・曲の構成に注目しながら、曲想の変化を味わう。 ・オーケストラの楽器や仕組みを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業 ・実技テスト ・ワーク、プリント ・定期考査 ・鑑賞レポート
5	パートの役割を理解して、歌唱表現を工夫しよう 《歌唱》	<ul style="list-style-type: none"> ・パートの役割を理解して合唱する。 ・混声3部合唱、拍によって響きのある声で合唱する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークの取り組み
6	翼をください 楽器の音色と奏法との関わりを理解して器楽表現を工夫しよう 《器楽》	<ul style="list-style-type: none"> ・ウクレレの基本的な奏法を理解する。 	
7	ウクレレ パートの役割をいかして歌唱表現を工夫しよう 《合唱》 課題曲	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容を理解して合唱する。 	
9	曲想と音楽の構造との関わりを理解して歌唱表現を工夫しよう 《合唱》 コンクール 課題曲	<ul style="list-style-type: none"> ・曲の構成や曲想の変化を生かして合唱する。 ・作者のメッセージを受け止め、思いをこめて合唱する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業 ・実技テスト ・ワーク、プリント ・定期考査 ・パート練習の取り組み ・グループワークの取り組み
10	言葉のリズムを生かして創作表現を工夫しよう 《創作》	<ul style="list-style-type: none"> ・構成を工夫して言葉によるリズムアンサンブルを創作する。 	
11	リズム創作 楽器の音色と奏法との関わりを理解して器楽表現を工夫しよう 《器楽》ウクレレ	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単なコード進行を使って演奏する。 	
12	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう 《鑑賞》 小フーガト短調	<ul style="list-style-type: none"> ・パイプオルガンや他の鍵盤楽器について理解する。 ・曲の構成を理解し、音の重なりを感じとる。 	
1	曲想と音楽の構造との関わりを理解して歌唱表現を工夫しよう 《合唱》 明日の空へ	<ul style="list-style-type: none"> ・混声3部合唱 ・曲の構成や曲想の変化を生かして合唱する。 ・作者のメッセージを受け止め、思いをこめて合唱する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業 ・実技テスト ・ワーク、プリント ・定期考査 ・パート練習の取り組み
2	卒業式の式歌		<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークの取り組み
3			

2年美術科

(1) 観点別学習状況の評価例

■ 教科の目標	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
※『学習指導要領』 (平成29年告示) 参 照	対象や事象を捉える造形的な 視点について理解するととも に、表現方法を創意工夫し、 創造的に表すことができるよ うにする。	造形的なよさや美しさ、表現 の意図と工夫、美術の働きな どについて考え、主題を生み 出し豊かに発想し構想を練つ たり、美術や美術文化に対す る見方や感じ方を深めたりす ることができるようにする。	美術の創造活動の喜びを味わ い、美術を愛好する心情を育 み、感性を豊かにし、心豊か な生活を創造していく態度を 養い、豊かな情操を培う。
■ 教科の「評 価の観点及び その趣旨」	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
※『指導と評価の 一体化』のための学 習評価に関する参考 資料』参照	<ul style="list-style-type: none"> 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 表現方法を創意工夫し、創造的に表している。 	造形的なよさや美しさ、表現 の意図と工夫、美術の働きな どについて考えるとともに、 主題を生み出し豊かに発想し 構想を練ったり、美術文化に 対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わ い主体的に表現及び鑑賞の幅 広い学習活動に取り組もうと している。
○ 授業の構想 と学習評価例	<p>「ピクトグラムを考えよう (デザイン)」</p> <p>知識 形などの性質や、それ からもたらす効果、場所や造 形的な特徴などを基に、全体 のイメージで捉えることができ ている。</p> <p>技能 意図に応じて表現方 法を創意工夫して、制作の順 序などを総合的に考えなが ら、見通しをもって造形的に 表している。</p> <p>【評価材料】 授業観察 ワークシート (アイデアスケ ッチ) 作品 定期テスト</p>	<p>「ピクトグラムを考えよう (デザイン)」</p> <p>発想 伝える相手や施設、場 所などのイメージなどから主 題を生み出し、形がもたらす 効果や、分かりやすさと美し さなどの調和、統一感など を総合的に考え、表現の構想 を練っている。</p> <p>鑑賞 伝達のデザインの調 和のとれた洗練された美しさ などを感じ取り、表現の意図 と造形的な工夫などについて 考えるなどして、見方や感じ 方を深めている。</p> <p>【評価材料】 授業観察 ワークシート (アイデアスケ ッチ) 作品 定期テスト</p>	<p>「ピクトグラムを考えよう (デザイン)」</p> <p>態度・表現 主体的に主題を 生み出し、統一感などを総合 的に考え構想を練り、意図に 応じて創意工夫し見通しをも って表現の学習活動に取り組 もうとしている。</p> <p>態度・鑑賞 主体的に伝達の デザインの調和のとれた洗練 された美しさなどを感じ取り 、意図と創造的な工夫など について考えるなどの見方や 感じ方を深めながら学習活動 に取り組もうとしている。</p> <p>【評価材料】 授業観察 ワークシート (アイデアスケ ッチ) 作品</p>

(2) 年間指導計画

美術科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

美術科 第2学年の目標

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と造形的な工夫。機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。
- (3) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

月	単元名	指導内容	評価方法
4	1 エンターテインメント・鑑賞 「授業内容（年間予定）の確認」 デザイン 「透視図法」	<ul style="list-style-type: none"> ・参考作品や生徒作品の鑑賞から、分野や内容の種類などを理解する。 ・教科書、資料集の文章を読み、これまでの美術的な経験を振り返り、中学校で美術での課題を見付ける。 ・一点透視図法、二点透視図法を練習し描けるようにする。 ・習得した技能・技術で作品制作を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・ワークシート ・作品 ・定期テスト
5			
6			
7			
9	彫刻・鑑賞 「動きのある人体塑造」	<ul style="list-style-type: none"> ・粘土を使って人体の塑造作品を制作する。その際人体の「動き」に注目させ、躍動感溢れる作品を目指す。 ・人体の骨格や筋肉を意識して作品制作を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・アイデアスケッチ ・ワークシート ・作品 ・定期テスト
10			
11			
12			
1	デザイン・鑑賞 「コラージュを活かして」	<ul style="list-style-type: none"> ・コラージュに使用する素材の色や形などから発想し、コラージュ作品を制作する ・参考作品や生徒作品の鑑賞から、発想や工夫しているところを見付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・ワークシート ・作品 ・定期テスト
2			
3			
	鑑賞 「校内展示発表会（展示）を鑑賞する」	<ul style="list-style-type: none"> ・展示作品を鑑賞して、それぞれの作品が持つ良さや違いなどを感じ取る。 ・上級学年にしたがって技術や効果の向上によって作品製作の意欲や関心を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見学カード

2年保健体育科

(1) 観点別学習状況の評価例

■ 教科の目標	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
※『学習指導要領』 (平成29年告示)参照	各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。	運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。
■ 教科の「評価の観点及びその趣旨」	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
※『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』参照	運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解するとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。また、個人生活における健康・安全について科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に自主的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。
○ 授業の構想と学習評価例	<p>運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力や高め方、表現の仕方、伝統的な考え方、発表の仕方などを理解し、身に付ける。</p> <p>《授業での取り組み》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実技練習、発表、記録会、試合。 ・健康・安全についての理解。 <p>《評価》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 期末考査 ○ 実技テスト <ul style="list-style-type: none"> ・個人技能（記録、技、フォーム、表現、発表） ・チーム内での活動における技能評価（攻防の仕方、動き） ・試合での活動における技能評価 ○ 準備運動など ○ 保健、体育理論 	<p>自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に言葉や文章、動作などで伝えることができる。</p> <p>《授業での取り組み》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題を設定し、取組方法を工夫・改善する。 ・グループでの学び合い、話し合い活動。 ・学習カードへの記入。 <p>《評価》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習カード ○ その日の「ねらい」を意識して考えながら取り組み、表現している。 ○ 練習や試合の活動（個人、グループ）における取り組み。 ○ 保健、体育理論 	<p>運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、一人一人の違いを認めようとする、健康・安全に留意する、自己の最善を尽くして運動をする。</p> <p>各種目に積極的に取り組み、技能や体力の向上を図る。また、上達するために繰り返し粘り強く取り組む。</p> <p>《授業での取り組み》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人やチームの課題への継続的な取り組み。 ・協力し最善を尽くす取り組み姿勢。 ・学習カードへの記入。 <p>《評価》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 毎時間の行動、準備片付け ○ 学習カード ○ 保健、体育理論 ○ 各種目の取り組む姿勢

(2) 年間指導計画

保健体育科の目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を養う。

保健体育科 第2学年の目標

- 1 運動を豊かに実践することができるようにするため、健康・安全の留意点への具体的な方法を理解し、運動の合理的な実践を通して各領域の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。
- 2 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。
- 3 運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生への意欲を持ち、健康・安全に留意し、最善を尽くして学習に取り組もうとしている。

月	単元名	指導内容	評価方法
4	集団行動 体づくり運動	集団行動 ・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動	行動観察,テスト 学習カード,テスト
5	運動会練習 陸上競技	・短距離走 ・リレー ・ハードル走	行動観察 定期考査 実技テスト 学習カード
6	体づくり運動(体力測定)	・新体力テスト	
7	球技 体育理論 保健	・ソフトボール ・スポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方 ・健康な生活と病気の予防	
9	水泳	・水慣れ ・クロール・平泳ぎ・背負泳ぎ	
9	器械運動	・跳び箱	行動観察 定期考査 実技テスト 学習カード
10	陸上競技	・走り高跳び	
11	球技	・長距離 ・バレーボール	
12	体育理論 保健	・スポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方 ・傷害の防止	
1	武道	・柔道	
2	球技	・サッカー	行動観察 定期考査 実技テスト 学習カード
3	体育理論 保健 ダンス	・スポーツの多様性 ・心身の機能の発達と心の健康 ・ダンス	

2年技術・家庭科(技術分野)

(1) 観点別学習状況の評価例

■教科の目標	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力人間性等
※『学習指導要領』 (平成29年告示)参照	生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。
■教科の「評価の観点及びその趣旨」	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
※『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』参照	生活や社会で利用されている技術について理解するとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。
○授業の構想と学習評価例	<ul style="list-style-type: none"> ・材料や加工の技術についての科学的な原理・法則を理解している。 ・製作状況に応じた、必要な技能が適切に活用できている。 《授業での取組》 <ul style="list-style-type: none"> ・プリントでの学習 ・実習 ・製作 《評価》 <ul style="list-style-type: none"> ・プリントでの学習状況 ・授業の振り返りができたか。 ・安全な作業について理解し、実施できるか。 ・知識が身に付いているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題を見いだして課題を設定し、解決に向けての手順を考えている。 ・構想したアイデアが分かりやすく具体化されている。 《授業での取組》 <ul style="list-style-type: none"> ・問題を見いだして課題を設定する。(プリント) ・構想を図にして表現する。 《評価》 <ul style="list-style-type: none"> ・プリントの取組 ・構想図 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分なりの考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。 ・自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものへの改善・修正をしようとしている。 《授業での取組》 <ul style="list-style-type: none"> ・問題を見いだして課題を設定する。(プリント) ・構想図を図にして表現する。 《評価》 <ul style="list-style-type: none"> ・学習で得た知識や技能を製作で活用できているか。 ・製作図をよりよくすることができているか。また努力したか。

技術・家庭科（技術分野）の目標

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

技術・家庭科（技術分野） 第2学年の目標

- (1) 生活や社会で利用されている生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。
- (2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通して具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

月	単元名	指導内容	評価方法
4	生物育成の技術 ・生活や社会と生物育成の技術	○生物育成の技術が生活や社会に果たしている役割について考える。 ○作物、及び森林に関わる育成技術について知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・学習への取組 ・ワークシート ・調べ学習、発表
5	・生物育成の技術による問題解決	○問題解決の手順を知り、生物育成の技術を用いて解決したい問題を見つけ、課題を設定する。 ○設定した課題に基づき、育成環境の調節方法を構想して、育成計画を具体化する。	
6		○安全・適切に栽培・検査し、必要に応じて適切に対応する。 ○設定した課題の解決状況を評価するため、作物の生育状況と、育成環境の調節、成長の度合いなどのデータを記録する。	
7	・これからの生物育成の技術	○収穫の様子（品質や収穫量など）と、解決過程で収集したデータとを整理して、収穫レポートにまとめながら、問題解決の過程と結果を振り返る。 ○ここまでの学習活動を振り返り、生物育成の技術の見方・考え方について考える。 ○生物育成の技術を評価し、技術の適切な活用について考える。	
9	エネルギー変換の技術 ・生活や社会とエネルギー変換の技術 ・エネルギー資源の利用	○エネルギー変換の技術が生活や社会に果たしている役割について考える。 ○エネルギー資源の種類や、エネルギーが利用されるまでの流れを知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・学習への取組 ・ワークシート ・製作の技術
10	・電気の利用	○内燃機関と外燃機関の特徴を比較し、まとめる。 ○発電方法の長所・短所を比較し、安定して発電するための仕組みを知る。送電の仕組みを知る。	
11	・運動の利用	○家庭で起こる電気の事故と原因について調べ、それらを防止するための仕組みや電気機器の定格について知る。 ○動力を伝えるための仕組みが用いられている身近な製品を探し、その理由を考える。	
12	・これからのエネルギー変換の技術	○エネルギー変換の技術を活用した製品の製作 ○エネルギー変換の技術で学習したことや身に付けた見方や考え方を振り返る。	
1	○情報の技術 ・生活や社会と情報の技術 ・情報とコンピュータ	○情報の技術が生活や社会で果たしている役割をまとめる。 ○コンピュータシステムの構成とソフトウェアの働きを知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・学習への取組 ・ワークシート
2	・情報の表現と伝達	○コンピュータがもつ主な機能と主な装置の仕組みを知る。 ○情報通信ネットワークの構成や情報をやりとりするしくみを知る。	
3		○Webにおける情報の表現方法を知る。	

2年技術・家庭科(家庭分野)

(1) 観点別学習状況の評価例

<p>■教科の目標 ※『学習指導要領』 (平成29年告示)参照</p>	<p>知識及び技能 家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p>	<p>思考力・判断力・表現力等 これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを理論的に表現するなどして課題を解決する力を養う。</p>	<p>学びに向かう力人間性等 家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして生活を工夫し創造し、実践しようとする態度を養う。</p>
<p>■教科の「評価の観点及びその趣旨」 ※『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料参照</p>	<p>知識・技能 ・家族・家庭の基本的な機能について理解している。 ・生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。</p>	<p>思考・判断・表現 これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを理論的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度 家族や地域の人々と協働しよりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p>
<p>○授業の構想と学習評価例</p>	<p>食生活や衣生活、住生活、家族・家庭生活、消費生活、環境について理解し、実践することができる。</p> <p><授業での取り組み> 家庭生活に関する基礎的・基本的な学習 (「考えてみよう」から、考え方を共有したり、作業の時は教えあったりする学習活動)</p> <p><評価> ・学習内容がきちんと身に付いているか ・作品やプリント等、提出日に出しているか ・グループでの話し合いの時の気づきがあるか</p>	<p>それぞれの領域で学習したことについて、問題を見いだして課題を設定し、考察し表現することができる。</p> <p><授業での取り組み> 家庭生活に関する基礎的・基本的な学習 (考えを発表し、共有することができ、互いに高めあう学習活動)</p> <p><評価> ・自分の考えを正しい表現で発表することができるか ・プリントやワーク等、正確に記入されているか ・グループでの話し合いを基に考察し表現することができるか</p>	<p>それぞれの領域で学習したことについて、課題の解決に取り組み、振り返って、生活を工夫し実践しようとしている。</p> <p><授業での取り組み> 家庭生活に関する基礎的・基本的な学習 (学んだことを生活にいかせるように自ら取り組む学習活動)</p> <p><評価> ・作品やプリント・ワーク等への取り組み状況 ・学習した内容を振り返り、次に生かそうとしているか ・学習に積極的に取り組んでいるか(発言、作品等)</p>

(2) 年間指導計画

技術・家庭科（家庭分野）の目標

健康で快適な家庭生活が営まれるように基礎的な知識及び技能を習得し、家族や地域の人とかかわり、たがいに尊重し、共に生きる生活を創造していく力を育む。

技術・家庭科（家庭分野） 第2学年の目標

- (1) 快適な生活ができるよう、衣・食・住・消費生活・環境について基礎的・基本的な能力を養う。
- (2) 「循環型社会」に対応、むだのない消費生活を工夫する力を養う。

月	単元名	指導内容	評価方法
4	第4章 私たちの衣生活（12） ・衣服の働き ・目的に合わせて自分らしく着る	・衣服の働き ・衣服のT、P、O ・和服	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・授業への取り組み ・プリント
5	・衣服の計画的な活用	・衣服計画	
6	・自分に合った衣服の入手	・衣服の選択と購入	
7	・衣服の手入れ	<ul style="list-style-type: none"> ・既製服の表示 ・既製服のサイズ ・衣服を適に着るために 	
9	第3章 調理と食文化（3） ・調理の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・調理とは ・調理器具 ・安全性と衛生 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・授業への取り組み ・プリント
10	・実習 第6章 私たちの住生活（9） ・住まいの働き	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な働き ・生活行為と住まいの空間 	
11	・暮らしやすい住まい方 ・室内環境の整え方 ・家庭内事故	<ul style="list-style-type: none"> ・住まい方の変化 ・住まいの中の空気の汚れ ・住まいの中で起こる事故 ・みんなにやさしい住まい 	
12	・安全な住まい方 第1章 私たちの消費生活（13） ・買い物の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害 ・自然災害への備え ・私たちは消費者 ・計画的なお金の管理 ・身近にある契約 ・契約の成立 ・未成年者取消権 	
1	・販売方法や支払い方法	・販売方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・授業への取り組み ・プリント
2	・消費者トラブル	<ul style="list-style-type: none"> ・支払い方法 ・クレジットカードの仕組み ・消費者トラブルが起こる理由 	
3		・消費者トラブルを防ぐために	

2年外国語科(英語)

(1) 観点別学習状況の評価例

■ 教科の目標	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
※『学習指導要領』 (平成29年告示) 参 照	外国語の音声や語彙、表現、 文法、言語の働きなどを理解 するとともに、これからの知 識を、聞くこと、読むこと、 話すこと、書くことによる実 際のコミュニケーションにお いて活用できる技能を身に付 けるようにする。	コミュニケーションを行う目 的や場面、状況などに応じて、 日常的な話題や社会的な話題 について、外国語で簡単な情 報や考えなどを理解したり、 これらを活用して表現したり 伝え合ったりすることができ る力を養う。	外国語の背景にある文化に対 する理解を深め、聞き手、読 み手、話し手、書き手に配慮 しながら、主体的に外国語を 用いてコミュニケーションを 図ろうとする態度を養う。
■ 教科の「評 価の観点及び その趣旨」	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
※『「指導と評価の 一体化」のための学 習評価に関する参考 資料』参照	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の音声や語彙、表現、 文法、言語の働きなどを理解 している。 ・外国語の音声や語彙、表現、 文法、言語の働きなどの知識 を、聞くこと、読むこと、話 すこと、書くことによる実際 のコミュニケーションにおい て活用できる技能を身に付け ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションを行う 目的や場面、状況などに応じ て、日常的な話題や社会的な 話題について、外国語で簡単 な情報や考えなどを理解した り、これらを活用して表現し たり伝え合ったりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の背景にある文化に 対する理解を深め、聞き手、 読み手、話し手、書き手に配 慮しながら、主体的に外国語 を用いてコミュニケーション を図ろうとしている。
○ 授業の構想 と学習評価例	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書のリスニングパート <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常的な話題や社会的な話 題について話されているパッ セージを聞いて、その内容を 的確に捉えている。 (→聞くこと) ○Lesson ごとの教科書準拠 ワーク <ul style="list-style-type: none"> ・ その単元で学んだことと今 ままでに学んだ知識を用いて、 事実や自分の考えなどを正し く書くことができる技能を身 に付けている。 (→書くこと) 	<ul style="list-style-type: none"> ○英作文 <ul style="list-style-type: none"> ・ 今までに学んだ語彙や文法 事項を用いて、テーマに沿っ てまとまりある文章を書いて いる。また、聞き手に伝わり やすいように文章を工夫して 書いている。(→書くこと) ○ALT の授業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 今までに学んだ語彙や文法 事項を用いて、テーマに沿っ てまとまりある内容を話して いる。また、ふさわしい態度 で、聞き手に伝わりやすいよ うに、身振り手振りを取り入 れ発表している。(→話すこと 【発表】) 	<ul style="list-style-type: none"> ○言語活動 (ALT の授業) <ul style="list-style-type: none"> ・ ペア活動では、自分の考え や気持ちを、学んだ表現を積 極的に用いて、間違いを恐れ ず相手に伝えようとしている。 また、相手が伝えたい内容 を聞きとろうとしている。 (→話すこと 【やり取り】) ○教科書本文読解 <ul style="list-style-type: none"> ・ まとまりのある長い文章を 読むときには、適宜辞書等を 用いながら、必要な情報や概 要、要点を捉えようとしてい る。(→読むこと)

(2) 年間指導計画

外国語科（英語）の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。

外国語科（英語） 第2学年の目標

- (1) 初歩的な英語を聞いて日常的话题について、必要な情報を聞き取ることができるようにする。
- (2) 初歩的な英語を用いて、事実や自分の考えなどを簡単な語句や文で話すことができるようにする。
- (3) 英語を読むことに慣れ親しみ、初歩的な英語を読んで短い文章などを理解できるようにする。
- (4) 英語を書くことに慣れ親しみ、初歩的な英語を用いて、事実や自分の考えなどについてまとまりのある文章を書くことができるようにする。

月	単元名	指導内容	評価方法
4	Lesson 1 Peter Rabbit	<ul style="list-style-type: none"> ・イギリス文学, ピーターラビット ・接続詞 (when, if, that) ・物語文: 概要をとらえる ・朗読する 	授業における行動観察 プリント等提出物 発言・発表 定期考査 自己評価カード
5	Lesson 2 My Dream	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の将来像, 将来の夢 ・to 不定詞 ・意見文: 要点をとらえる 	
6	Lesson 3 Every Drop Counts	<ul style="list-style-type: none"> ・自然科学, 社会貢献活動 ・There is [are] や動名詞 ・説明文: 概要をとらえる ・話し合い: 即興で伝え合う ・スピーチ: 即興で発表する 	
7			
9	Lesson 4 Uluru	<ul style="list-style-type: none"> ・オーストラリア, 地域の文化 ・動詞 (give, call など) + A + B ・意見文: 要点をとらえる ・エッセイ: まとまりのある文章を書く 	授業における行動観察 プリント等提出物 発言・発表 定期考査 自己評価カード
10	Lesson 5 Things to Do in Japan	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行・観光, 異文化体験 ・形容詞や副詞の比較級, 最上級 ・説明文: 要点をとらえる ・レポート: まとまりのある文章を書く 	
11	Lesson 6 Tea from China	<ul style="list-style-type: none"> ・中国, お茶の文化と歴史 ・現在完了形 (継続) ・説明文: 概要をとらえる ・カード: まとまりのある文章を書く 	
12			
1	Lesson 7 Rakugo Goes Overseas	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統文化, 英語落語 ・現在完了形 (完了・経験) ・意見文: 要点をとらえる ・インタビュー: 即興で伝え合う ・ポスター: 正確に書く 	授業における行動観察 プリント等提出物 発言・発表 定期考査 自己評価カード
2			
3			